

ナラ枯れ被害の 情報提供にご協力下さい

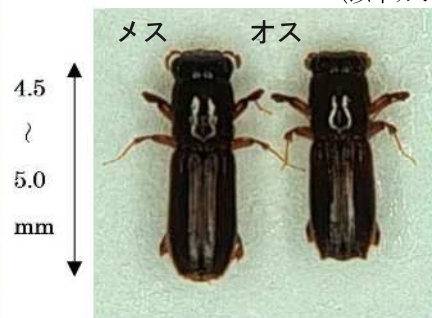


※1 一般社団法人日本森林技術協会 福沢朋子 氏提供

ナラ枯れとは、
カシノナガキクイムシが媒介するナラ菌によって
コナラ・ミズナラなどが枯れる伝染病です。

カシノナガキクイムシ

(以下カシナガ)



※体長はわずか4.5～5.0ミリの程度

「森林総合研究所関西支所より」

- 令和2(2020)年度以降、栃木県の県南部を中心に被害が拡大しており、宇都宮市内においても、被害が確認されています。
- 被害の拡大を防ぐために、ナラ枯れ被害の疑いがある樹木を見かけたら、市役所 までご連絡下さい。

〈お問合せ先〉

宇都宮市
経済部農林生産流通課森林整備・鳥獣対策グループ（市役所7階）
電話番号：028-632-2477

ナラ枯れ被害の特徴

- ・コナラやミズナラの高齢化した大径木に多く発生します（稀にクリ・クヌギ・シイ・カシにも）。
- ・根元に大量のフラス（虫のフンと木くず）がたまります。
- ・8月頃に葉が赤褐色に変色します。



ナラ枯れ発生のメカニズム

